

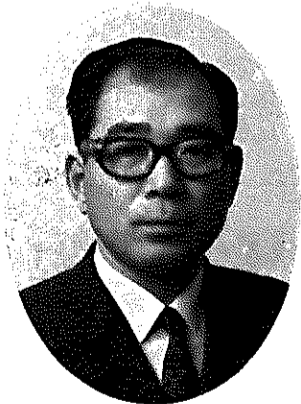
人口のうごき	
(1月1日現在)	(12月中)
人口・33,412	出生・67
男・16,049	死亡・30
女・17,363	転入・68
世帯・6,622	転出・60



——ことしも健康で良い年でありますように……元日の未明白根神社で——

無限の躍進を期待して

白根市長 吉沢正五



あけましておめでとうございます。
一九七〇年の新春を、ご家族おそろいで健やかに迎えのことと存じます。ここに紙上をかり、皆様に謹んで心からお祝いとお喜びを申し上げます。

皆様もご承知のとおり、ことし、一九七〇年は、国の将来を選挙する年といわれています。激動の年ともいわれられております。昨春私は、私どもの日常生活の上に訪れようとしている大きな試練をのりこえ、新しい世紀に対応できる地域社会の建設と、市民各位のしあわせを築くため、きびしい内外情勢の動向を注視しながら、不退転の決意をもって、市の総力を結集し、各位とともに全力を傾注することを約束しました。

一九七〇年代の映像は、まさに政治、経済教育、文化、産業をはじめ、社会各般にわたって新しい芽を求めつつ動きが活発となり、構造的に変革する新時代を迎えるのではないかと存じます。国の経済が好況裏に大型化し、世界の最高水準を進み、生産も消費もすべて拡大することは、まことに喜ばしいことと存じますが、同時にまた、新しく起る問題と、急成長にもなりひずみとが、かつて経験したことのないほどの勢いで、大きくなることも危惧(きぐ)しなければなりません。

この際私どもは、きわめて流動的な社会の動向に注目しながら、冷静な判断と行動をもって、これからおくる昭和四十五年を、混乱と沈滞の道を歩むのではなく、秩序の中で統伸の道を歩む機転の年にしたいものと念願しております。

さて、本市も去る昭和三十四年六月の市制施行以来、満十年を経過いたしました。この間市民各位の格別なご努力により、幾多の苦難をよく克服し、納大なるご理解とご協力を賜わりながら、着々と都市体制の確立と、福祉の充実に成果を上げてまいりました。ここに重ねて衷心より厚く感謝を申し上げますとともに、新春にあたり、あらためて過ぎし十年の足跡を顧み、無限の可能性を求めてあしたの躍進のために、たくましい糧(かて)としようではありませんか。